

# 「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 8日

仕事の内容	上北台公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民館	館	上北台公民館	係	課長名	尾又 恵子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業	6	上北台公民館事業
-----	---	----	-----	---	---	-------	---	---	------	----	---	----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 → 上北台地区の人口	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	地域で、学習の場に参加できる。	①公民館主催事業参加者 → ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(4月現在)
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤上北台公民館だよりの発行	①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 → ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤上北台公民館だよりの発行回数

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	4,603	4,586	4,534	
	成果指標	②の数値	人	① 1,993	① 2,111	① 2,096	
				② 24,693	② 25,109	② 25,062	
				③ 57	③ 62	③ 62	
目 標	②の目標値	人			①2,100 ②25,000	①2,100 ②25,000	①2,100 ②25,000
目標値設定の考え方		現状維持					
活動指標	③の数値	① 回 ② 回 ③ 回 ④ % ⑤ 回	①22 ②40 ③4 ④58.57 ⑤3	①22 ②40 ③4 ④61.31 ⑤3	①23 ②41 ③5 ④63.8 ⑤3		

3 経費	事業費		円	2,771,939	2,713,427	2,989,296	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	2,699,629	2,621,597	2,905,396	
		特定財源	円	72,310	91,830	83,900	
		(うち受益者負担)	円	72,310	91,830	83,900	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	16,466,000	16,466,000	16,466,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	19,237,939	19,179,427	19,455,296		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成5年5月10日、市内5番目の公民館として開館。市民の生涯学習を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	利用者の高齢化と勤労世代の利用が少ない状況がある。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	新規利用や講座後に立ち上がった自主グループも複数あり、利用率は微増した。 予約システムの導入により、利用者間の交流の機会が減るとの意見が寄せられた。 予約システム導入前は、未知の手法に対する不安の声があったが、開始後は大きな混乱は無く移行できた。
-------------	--	---

仕 事 の 内 容	上北台公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民	館	上北台公民館	係	課長名	尾又 恵子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 ①②③⑤⑥⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 社会教育施設として、市民の自立的な活動を支援する形で協働を進めていく。			
7 課題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。 ①主催事業については、子どもから高齢者まで満遍なく対象とする講座等を開催しているが、成人向け講座は受講者の多くが高齢者である。勤労者を取り込むには講座の内容だけでなく、職員体制などの課題を解決する必要がある。 ②施設利用については、利用率は微増である。曜日・時間帯で多少の偏りが見られる。和室は用途が限られるため利用率が悪い。		
8 今後の方向性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 施設利用の促進のため、より幅広い市民が参加する講座等を企画する。 市民の自主活動が活発になるようにサポートする。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 主催講座の開催の曜日・時間やテーマ選択の工夫をする。また、自主活動支援策について、広く市民に周知する。		
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。